

## 平成29年度防災訓練実施概要（案）

**実施日時** 平成29年10月24日（火） 15:50～17:15

**対象施設** 学内全域

**対象者** 学生、教職員

**テーマ** 「全学一斉避難」

**基本方針** 状況に応じて適切な行動をとる。

### 訓練内容

- ①東京多摩地区に震度6弱以上の地震が発生したことを想定した訓練
  - ・地震発生 of 訓練放送 → 部屋内で安全確保
  - ・地震沈静、避難指示の訓練放送 → 避難開始、危機対策本部へ集合
  - ・危機対策本部及び副本部（3カ所）の設置（自衛消防隊と協働）
  - ・安否確認システムによる学生、教職員の安否確認
  - ・各建物の安全確認
  - ・放射線管理区域に係る通報等の必要な措置
  - ・学生を安全な場所へ避難誘導
  - ・火災発生に伴う初期消火（場所：D棟）
  - ・ケガ人（1カ所1名）の発生に伴う救護、搬送
- ②起震車の体験、AED実習、消火器実習
  - ※コミュニケーションパーク付近
- ③講評 調布消防署員
- ④終了の言葉 危機対策本部長（学長）

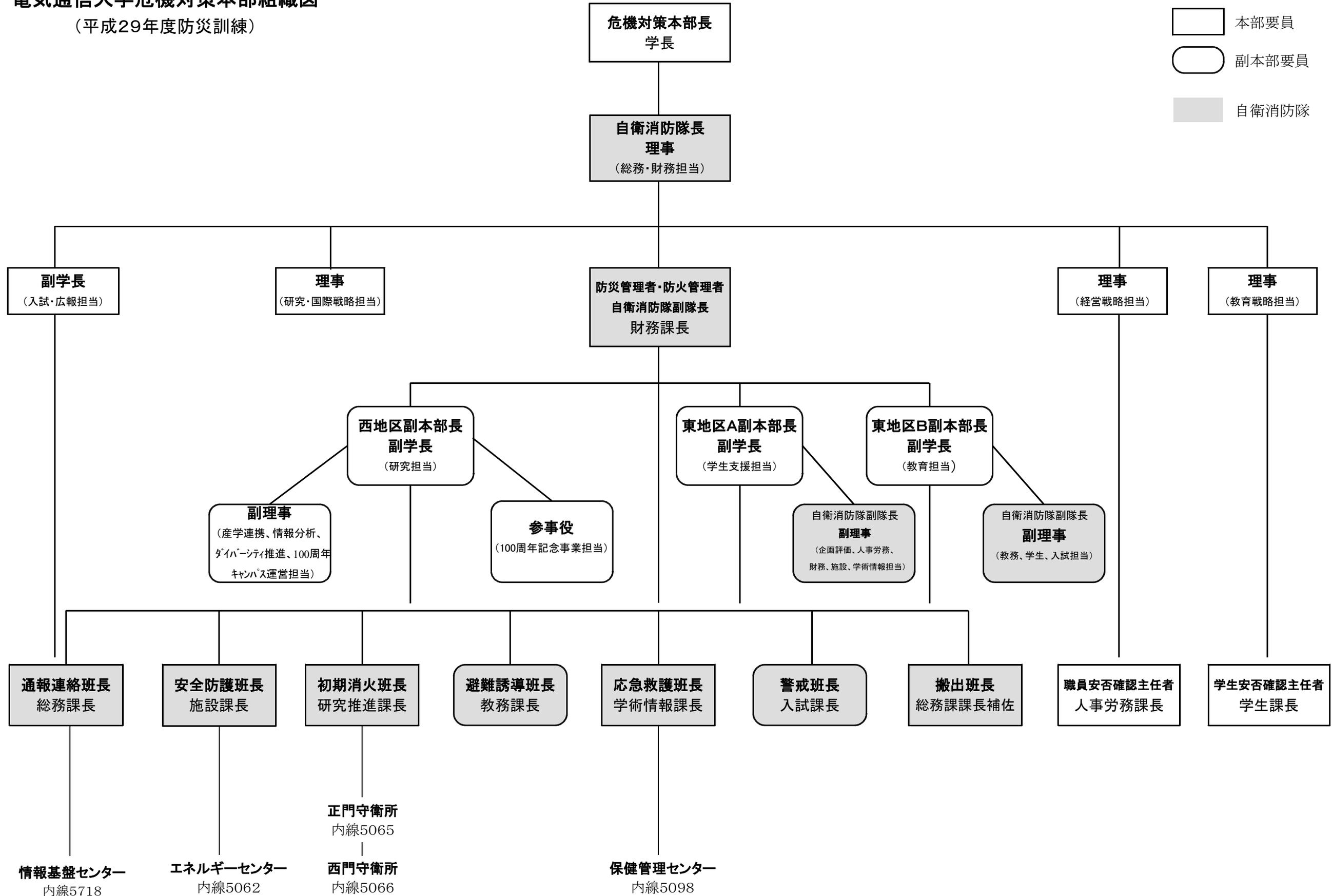
平成29年度防災訓練スケジュール

時間	危機対策本部要員	時間	訓練対象施設の学生、教職員
15:50	地震発生の訓練放送		
15:52	地震沈静、避難開始の訓練放送		
15:55	危機対策本部へ集合 危機対策本部、副本部の設置 行動開始 ・初期消火 ・ケガ人救護 ・避難誘導 ・安否確認 ・各建物の安全確認 など		指定の各避難場所へ避難 ↓ 安否確認システムへの返信 ↓
		16:15前後	訓示(調布消防署)
		16:25～	起震車等体験(コミュニケーションパーク)
16:30	本部訓練終了		↓
16:35～17:05	起震車等体験(コミュニケーションパーク)		↓
17:05～17:15	講評(調布消防署)、終了の言葉(本部長)		



# 電気通信大学危機対策本部組織図

(平成29年度防災訓練)



## 平成29年度防災訓練 教員行動マニュアル

実施日：平成29年10月24日（火）

※本マニュアルは、今回の防災訓練用のマニュアルです。実際の地震発生時は、別添の教員対応マニュアル「授業中に地震が起こった場合の対応」に基づき行動してください。

時間	授業担当教員・研究室の指導教員等
15:50	地震発生 of 訓練放送
15:52	地震沈静 of 訓練放送
	<p><b>避難指示 of 訓練放送 → 避難開始</b></p> <p>【学生への伝達事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練放送で指定された避難場所へ移動すること。 東地区 コミュニケーションパーク or 保健管理センター北側 西地区 テニスコート</li> <li>・避難する際の注意点 貴重品、携帯電話を持って出る。 エレベーターは使用しない。 建物内では走らない。 私語を禁止する。 周囲の安全を確認し、建物外へ出る。 屋外へ出たら建物から離れて移動する。</li> </ul> <p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当する教室・研究室等に誰もいないことを確認のうえ避難場所へ移動する。</li> </ul>
	<p><b>避難場所において</b></p> <p>【学生への伝達事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学から一斉配信されている安否確認メールに速やかに返信すること。</li> <li>・安否確認メールに返信したら、コミュニケーションパーク付近で行う消防署員の訓示を聞くこと。その後、コミュニケーションパーク付近で行うAEDや消火器の取扱実習、起震車体験などになるべく参加を促す。</li> </ul> <p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生は、原則として消防署員の訓示を聞くところまでを必須とし、5時限目に授業がある場合は授業を優先する。</li> <li>・学生への伝達が済んだら教員も安否確認メールに返信する。</li> <li>・避難誘導が完了したことを副本部へ報告する。（誘導した学生 of 人数等、避難報告記録簿への記入をお願いいたします。）</li> </ul>

※実験・演習・試験等で避難訓練に参加しない場合は、安否確認システムの送受信訓練に参加してください。学生には、安否確認メールへの返信を周知願います。

本件に関する問合せ先  
総務課総務係 内線5862  
E-mail:somusoumu-k@office.uec.ac.jp

## 授業中に地震が起こった場合の対応

－震度6弱以上の地震が発生したときに－

震度6弱以上の地震では、立っていることが困難となり、かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下します。交通機関や電気・ガス・水道なども被害を受け、日常生活に大きな影響が出るといわれています。このような地震が授業時間中に発生した場合を想定したマニュアルです。

### ・大きな揺れが起こったら

教員は授業等を一時中断し、学生の身の安全を確保してください。

壁、棚、窓から離れる。  
机の下などにかくれて頭を保護する。  
慌てて外に飛び出さない。  
大きな揺れがおさまるのを待つ。  
可能であればドアを開放し、出口を確保する。

### ・揺れがおさまったら

余震がこないか様子を見て、安全が確認できた場合は、その場に留まってください。

実験等で火気を使用しているときは、直ちに火を消す。  
荷物は最小限にして、いつでも避難できるように準備する。

### ・避難が必要と判断したら

周囲の建物や室内の状況から判断し、避難が必要と思われる場合（建物の傾き、壁の崩落、火災の発生の有無）は、グループで速やかに避難してください。

エレベーターは使用しない。  
出火に際しては姿勢を低くし、ハンカチを鼻と口に当て、煙を吸わないようにする。  
室外に出た場合は、塀の倒壊や割れたガラスの落下に注意する。

## ・学内の避難場所

次の場所を屋外避難場所に指定しています。

【東地区】 コミュニケーションパーク、保健管理センター北側  
【西地区】 テニスコート

雨天の場合は、建物の安全確認後に、屋内避難場所へ移動します。  
危険を示す表示のある建物には入らないでください。

【東地区】 講堂、B棟、大学会館      【西地区】 体育館

## ・学生の安否確認

地震の揺れがおさまったら、教員は学生の安否を確認します。

学生には、「安全確認カード」を事前に配付し、携行するよう指導しています。

カードは、学籍番号、氏名を記入した部分が切り離せるようになっていますので、記入してあるかを確認し、集めてください。

カードを持っていない学生については、学籍番号、氏名をメモし、回収したカードとともに人数の確認を行ってください。

負傷した学生がいないか確認してください。

学生に対し次の内容を伝達し、以後の対応は危機対策本部の指示に従ってください。

大学から「安否確認メール」が一斉配信されている場合は、速やかに返信すること。

今後、大きな余震があった場合は、再度「安否確認メール」が配信されることがあるので、携帯電話等の着信に注意すること。

## ・夜間（休日）の対応

研究室に所属する学生には、このマニュアルに準じた行動がとれるよう、事前の指導を行ってください。